

# 冬の節電にご協力をお願いします

大阪府では、今冬を通じて電力が逼迫することがないよう、節電を呼びかけています。エアコンの適切な温度設定（家庭20℃、業務系19℃）、こまめな消灯、パソコンやテレビの省エネ設定、ガスや石油等を使った暖房機器の利用など無理のない節電を実施してください。

## 関西電力管内における今冬の節電のお願い

- **内容**  
昨冬同様の節電の着実な実施（平成22年度冬比7%減）
- **期間**  
平成26年12月1日（月）～平成27年3月31日（火）の平日（年末年始12月29日～1月4日を除く）
- **時間**  
9:00～21:00
- **留意事項**  
高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、健康上の支障をおよぼさない範囲での節電をお願いします。

### 大阪府民の森 イベント情報

2014年12月～2015年3月

#### はじめてのバードウォッチング

【期間】12/13(土)、1/10(土)、2/14(土)  
【時間】9:00～12:00 【場所】くろんど園地  
【料金】500円/人 【雨天】雨天中止  
【集合】京阪私市駅前  
【申込】(一財)大阪府みどり公社 TEL:06-6266-1038  
くろんど園地を歩きながら冬鳥を観察しよう！お昼には焚火を囲んで焼きイモタイムもあり！

#### ガイドウォーク

【期間】12/21(日)、1/18(日)、2/14(土)、3/1(日)、3/15(日)  
【時間】11:00～13:00～の2回  
【場所】ちはや園地 【料金】100円/人  
【雨天】雨天中止 【集合】ちはや星と自然のミュージアム前  
【申込】ちはや星と自然のミュージアムで当日受付  
ちはや園地の自然とふれあえるガイドツアー。季節ごとにガラリと変わる景色を楽しめます。

#### 初登り&豚汁

【期間】1/10(土) 【時間】10:00～15:00  
【場所】ちはや園地 【集合】金剛登山口(ス摩9:45分迄)  
【料金】1000円/人 【雨天】雨天中止  
【申込】(一財)大阪府みどり公社 TEL:06-6266-1038 (1か月前より)  
金剛山の初登り。山頂付近では美しい霧氷が、そしてちはや園地では温かい豚汁が待っています！

#### 不思議なカイロ

【期間】1/18(日)  
【時間】13:00～14:30  
【場所】ちはや園地 【料金】500円/人  
【雨天】雨天決行 【集合】ちはや星と自然のミュージアム  
【申込】ちはや星と自然のミュージアム TEL:0721-74-0056  
使い捨てカイロや何度でも使える不思議なカイロを作ります。※小学生は保護者同伴。

#### 雪中のアニマルトレッキング

【期間】1/25(日)  
【時間】11:00～15:00  
【場所】ちはや園地 【料金】500円/人  
【雨天】雨天中止 【集合】ちはや星と自然のミュージアム前  
【申込】ちはや星と自然のミュージアム TEL:0721-74-0056  
雪面に残された動物たちの足跡探しに出かけよう！金剛山周辺の動物の季節の活動を観察します。

イベント担当/(一財)大阪府みどり公社 吉田 TEL06-6266-1038 FAX06-6266-8665 mail:ryokka@osaka-midori.jp 詳細はホームページで

#### 樹氷まつりクラフト

【期間】2/1(日)  
【時間】11:00～15:00 【場所】ちはや園地  
【料金】500円/人 【雨天】少雨決行  
【集合】ちはや星と自然のミュージアム  
【申込】ちはや星と自然のミュージアムで当日受付  
樹氷の季節！冬のちはや園地で、楽しいクラフトづくりに挑戦してみよう！

#### 実験！雪の結晶づくり

【期間】2/8(日)  
【時間】10:30～14:30 【場所】ちはや園地  
【料金】500円/人 【雨天】少雨決行  
【集合】ちはや星と自然のミュージアム  
【申込】ちはや星と自然のミュージアム TEL:0721-74-0056  
雪の結晶をペットボトルの結晶製造機で作ります。「天からの手紙」と言われる雪にどんなメッセージがつづられてるかな。

#### もっばら歩こう！生駒山系

【期間】2/22(日) 【時間】9:00～16:00  
【場所】中部園地 【料金】500円/人 【雨天】少雨決行  
【コース】枚岡神社鳥居前～唯峠～整下駅(予定)  
【申込】(一財)大阪府みどり公社 TEL:06-6266-1038 (1か月前より)  
生駒の尾根をひたすら歩く！知らせざる名所やスポットも紹介します。

#### 春の森かんさつ！～小さい春見つけた～

【期間】3/15(日)  
【時間】13:00～14:30 【場所】むろいけ園地  
【料金】300円/人 【雨天】雨天中止  
【集合】むろいけ園地案内所横  
【申込】むろいけ園地案内所横にて当日受付  
春を迎える森の植物や生き物たちを観察してみよう！

#### 星空観察会

【期間】3/28(土) 【時間】19:30～21:00  
【場所】ちはや園地 【料金】700円/人 【雨天】少雨決行  
【備考】観察会の申し込みは宿泊予約時に受付いたします。  
【集合】ちはや星と自然のミュージアム  
【申込】ちはや星と自然のミュージアム TEL:0721-74-0056  
金剛山に泊まって、星見台で星の観察をしよう！星雲や惑星を、400mmの反射望遠鏡で観察できます。

昔からずっと、これからも。トクして学ぶ、エコマガジン。

# えことOSAKA

大阪府地球温暖化防止活動推進センター情報紙



「えこと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしを「ちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと・やさしい)、エコロジカルにしよう」と、大阪言葉を交えた意味を込めています。編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 http://osaka-midori.jp/ 編集協力・印刷/株式会社ウールハーツ 〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-3-1 グロリア240 4F TEL.06-6399-9500 FAX.06-6399-9550 http://www.w-hearts.jp/

## CONTENTS

- 1 えこMONO大百貨 file:3 湯たんぽ
- 2 エコ魂の職人たす 関魂 太陽工業株式会社 その3 MAKTANK プロジェクト 荒木秀文さん
- 3 ぶらり循環資源の旅 家庭系廃食用油
- 4 イベント情報
- 4 読者アンケート

## えこMONO大百貨

節電や温暖化防止対策への関心が高まるなか、私たちの周りにはエコマインドを秘めたさまざまな雑貨や小物があります。本欄では、そんなエコにまつわる雑貨を取り上げ、製品に込められた機能や歴史などを紹介します。

file:3

# 湯たんぽ



寒さこたえるこの季節、湯たんぽをおともにお布団にもぐり込む方も多いと思います。湯たんぽはお湯を沸かすだけで余分な電気を使わない、環境にやさしく経済的な暖房器具です。

その歴史は古く、発祥は中国といわれ、7世紀唐の時代にはあったとされています。湯たんぽの「たんぽ」は漢字で「湯婆」と書き、「婆」とは「母」をあらわすようで、間接的に伝わるお湯の温もりが母親の体温のように温かく心地よいことからその名がついたともいわれています。

大正12年創業の湯たんぽメーカー、マルカ株式会社(兵庫県尼崎市)広報部の大倉茂明さんによると、わが国では古来、焼いた軽石などを布に包み、懐に入れて暖をとる「温石(おんじゃく)」という習慣があったそうです。湯たんぽが伝わったのは室町時代に入ってからで、陶器で作られたものが広く庶民の間で定着していったそうです。栃木県輪王寺には、犬公方として有名な江戸幕府五代将軍、徳川綱吉が使用したという犬の形をした湯たんぽが残っています。

大正に入ると、トタンでできたものが登場し、現在ではプラスチック製やゴム製など材質も多彩になりました。表面の波型は熱を伝える面積を広くすること、温度が下がった

時にへこまないよう、丈夫にするためにつけられています。

高度成長期にはエアコン、電気毛布といった暖房器具が急速に普及し、湯たんぽにとっては不遇な時代が続きましたが、環境志向が高まる昨今、身体にやさしいエコな暖房器具として見直されています。

IHクッキングヒーターやガスコンロで直接温められるものもあり、中の水は繰り返し使え、節水になります。また、小型で携帯可能なタイプも販売され、オフィスなど場所を選ばず使えるようになりました。さらに夏場でも氷を入れて涼をとれるよう口金が大きくなっているタイプもあるとか。いまや、オールシーズン手頃に使える日用品として進化しています。

大倉さんは「阪神・淡路大震災直後、避難所へ湯たんぽをお配りし、多くの方から感謝の言葉をいただきました。昔から脈々と受け継がれてきたものは、いざという時でも力を発揮します。シンプルですが進化し続ける湯たんぽをこれからも作り続けていきます。」と語っておられました。

使用の際はやけどなどに注意してください。専用のカバーやバスタオルなどでくるみ、直接皮膚に湯たんぽが当たらないようにしましょう。

マルカ株式会社 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江5丁目7番10号 TEL/06-6423-3961(代) http://www.maruka-yutanpo.jp/

アンケートにぜひお答えください。抽選で右記賞品をプレゼントします！

- Q1 どこで「えことOSAKA」を手に取りましたか？
- Q2 今後取り上げて欲しい内容を教えてください
- Q3 本紙を読んで環境に対する考え方に変わった事はありますか？
- Q4 身近にエコ設備や施設、製品などありましたら教えてください

住所 □□□□□□

氏名 男・女 年齢 才 TEL

ご応募はファックス、またはメールで  
締切り●平成27年1月30日(金)まで

**FAX.06-6399-9550** または **E-mail:ecotto@w-hearts.jp**

○当選者発表は商品の発送をもってかえさせていただきます  
○お答えいただいた内容や個人情報、「えことOSAKA」の紙面制作の目的以外に一切使用いたしません

**Present!** **湯たんぽ** プレゼント!

2名様

湯たんぽA(エース) 2.5L/袋付  
◆寸法 29.5×21.6×7.4cm  
◆材質 溶融亜鉛メッキ鋼板  
空気調整弁付キャップ/直火IH電磁調理器対応/専用湯たんぽカバー・替えノックン付  
提供/マルカ株式会社

冬の快適エコグッズ、湯たんぽを2名の方にプレゼント！これを湯たんぽといえる、金属製ホデイが頼もしい一品です。安眠の基本は「頭寒足熱」。足を温めて、寒い冬を乗り切ります！

### 「えことOSAKA」を購読しませんか？

継続して購読されたい方は、1期(4号:年4回発行)送付分の切手、120円分4枚をご用意いただき、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。  
●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
お近くの市町村(環境担当部署)、消費者生活センター、府立図書館、府民情報プラザ、環境情報プラザなどでも配布しております。

えことOSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です。<詳しくは… http://osaka-midori.jp/carbon/pdf/mukouka.pdf

本紙は1部あたり20.5gのCO2(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施の省エネプロジェクトで創出されたクレジットでオフセットしています。



# だまし 魂の エコ職人たち

闘魂  
その3

## 膜が生み出す未来の幕明け ～テント膜リサイクル靴「MAKTANK」の挑戦～

太陽工業株式会社 取締役 経営企画室長  
MAKTANK プロジェクト担当リーダー

### 荒木秀文さん



博覧会のパビリオンやドームスタジアムなどの大型膜面構造物(テント構造物)を手がける太陽工業株式会社(本社/大阪市)は、製造時に生じる端材や使用期間を終えたテント膜を再利用して、靴を製造しています。ブランド名は「MAKTANK(マクタンク)」。巨大テントづくりの技術を取り入れた「MAKTANK」は、将来、テント廃棄物の100%リサイクルを目指す同社の最初の取り組みです。今回はプロジェクト担当リーダーの荒木秀文取締役役に「MAKTANK」の工房がある同社枚方工場でお話を伺いました。

### 一靴作りを始めたきっかけは何ですか？

今から8年ほど前、製造現場に身を置いていた私は、テントを作る工程でどうしても発生する端材を何とかしたいという思いがありました。ちょうどその頃、当社のテント技術を、靴づくりに活かさないだろうかという社長からの提案があり、思わずひらめいたのが、この大量の端材を利用することでした。端材とはいえ、未使用ですし、いろいろな色や柄が揃っています。靴を作ることができれば、廃棄するしかなかった端材に新たな息吹を吹き込めると考えました。もちろん、廃棄処分の際に発生するCO2の排出を抑えようという大義はありましたが、まずは単純に「新品同様のそれらが処分されるのはもったいないな」という意識が、私たちのスタート地点です。

こうして2007年初め、「MAKTANKプロジェクト」がスタートしました。

### 一靴を作るための技術やノウハウは持っておられたのですか？

元々は製造現場の人間ですから、テントに関する機能や品質を高めるノウハウは持っていましたが、靴のようにデザインセンスが問われるようなスキルは持っていませんでした。プロジェクトの発足当時、部署を超えてそれぞれ違う特技を持ったメンバーを集め、私たちが作る靴とはどんなものか、みんなで知恵を絞ろうと意見を出し合いました。そんなやり取りを繰り返しながら

プロジェクトは進んでいきました。私たちは靴づくりのプロではありませんが、職人としての魂や信念は持っています。今まで培ってきた当社の技術を注ぎ込むことで、単なるリサイクルではない、職人のオリジナリティーを持った1点ものの価値を認めてもらえるよう活動してきました。縫製には、もちろん針や糸を使っていますが、一部にテント膜の溶着技術を駆使して、従来の靴にはない丈夫なつくりとディテールを実現しました。

### 「MAKTANK」はテレビの取材などにもたびたび取り上げられています。販売当初は大盛況だったようですが、新たな発見はありましたか？

インターネットを使って販売を始めましたが、発売前のちょうどいいタイミングでテレビで取り上げられ、発売と同時にアクセスが集中し、ホームページのシステムがパンクしてしまうほどの盛況でした。2007年から2010年にかけてはホームページ上にアップすると10分も経たない間に完売するような状態が続きました。好評を得たおかげで「MAKTANK」を通じ、今まで接点のなかった企業様とのコラボレーションも生まれました。私たちの溶着技術を使って使用済みの布や紙など、テント以外の異素材を材料に使うことにもチャレンジしました。建築資材としてのテントにしか向き合っていなかったらまず思いつくこともなかったでしょうね。すごく広い視野で物事を考えるようになりました。

### 現在の「MAKTANK」の販売はどうなっていますか？何か活動の移り変わりはありますか？

現在では新しい製品を作り販売するという

形態はペースダウンさせて、メンテナンスやブログを通じてお客様との新しい繋がりを模索しています。

それに加え、私たちが「MAKTANK」を使って、いかにリサイクルの輪を広げていけるかということを考えています。

その一環として、端材の価値を知ってもらえるよう協力会社の方々を対象に、体験工房を実施しています。「MAKTANK」を自分たちで作ってみてリサイクルや地球環境温暖化防止について考えるきっかけになればと思っています。

### 「MAKTANKプロジェクト」を通じて、地球環境について考え方は変わりましたか？

取材やイベント参加が増えたおかげで、リサイクル活動に触れる機会が増えました。それらは社員への、地球環境に対する啓発に結びついたと思います。

今後はもっと踏み込んで、本当の意味でのリサイクル活動へと発展させられるべく動いています。「MAKTANK」はリサイクルを考えるきっかけにはなりましたが、廃棄量を減らせるだけの生産量には至っていません。

本当の意味でのリサイクルとはリユースのみならず、ケミカルリサイクルの枠組みを完成させることだと考えます。つまり廃棄となった素材を原材料まで戻し、また新たな膜製品へと還元する取り組みです。現在、そのためのプラント作りや法整備などを推進しています。これらは「MAKTANK」に携わらなかったら、取り組まなかったことかもしれません。

私たちが目指すケミカルリサイクルが100%実現すれば、もう端材が廃棄処分されることもなくなるでしょう。



枚方工場 枚方市招提田近3-20



加工前のテント端材



「MAKTANK」。3wayバックなど8つのタイプをラインナップ。ブランド名は「膜=MAK」と「入れ物=TANK」を組み合わせて命名

## 平成26年度 大阪府地球温暖化防止活動推進員 委嘱式及び研修会

平成26年10月1日(水)、大阪府 咲洲庁舎共用会議室にて「大阪府地球温暖化防止活動推進員 委嘱式及び研修会」が、推進員47名の出席で開催されました。



第一部では、委嘱状交付式、地球環境課の挨拶、推進員の活動方法の説明を行い、その後の第二部では大阪府の施策紹介のあと、大阪管区気象台の情報官による気候変動に関する情報提供と、大阪府地球温暖化防止活動推進センターの取り組み紹介を行いました。

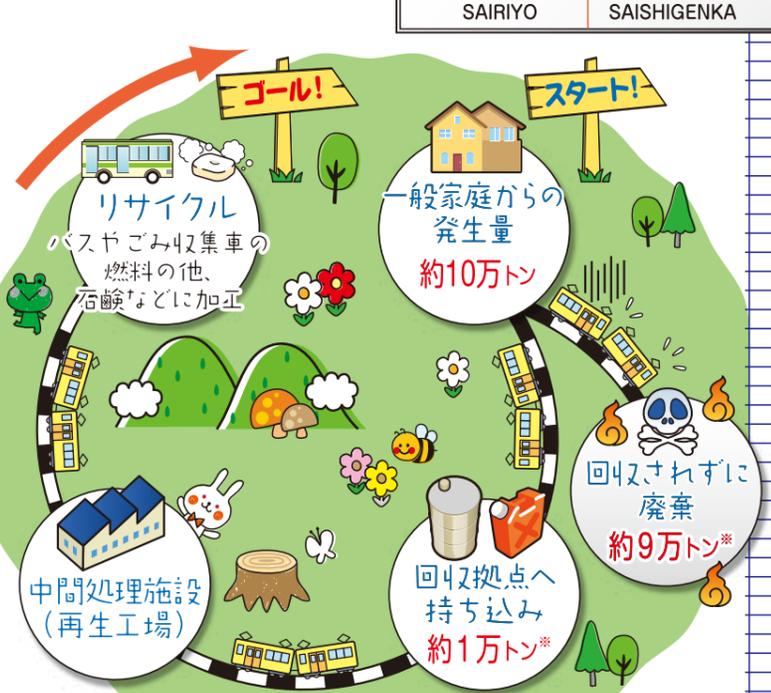
推進員の皆様からは、終始、積極的なご意見やご質問をいただき、事務局にとってもご出席された皆様にとっても有意義な時間となりました。

第7期で委嘱された117名の推進員の皆様、今後ともよろしくお願いたします。

## 家庭系廃食用油——リサイクルのゆくえ

家庭から発生する天ぷら油などの廃食用油は、全国で年間約10万トン。これらをそのまま排水として流してしまうと環境によくないことは明白です。専用の回収ボックスが街中に置かれていて、地域も異なりますが、廃食用油の扱いをめぐっては、様々な自治体や企業などが協同して回収を推進し、さらにバイオディーゼルの燃料(BDF)や石油代替燃料(SVO)などの資源として有効活用しようという取り組みが広がっています。

このCO2量を削減できず、酸性雨などの原因となるSOx(硫黄酸化物)もほとんど排出しないといわれています。すでに、BDFを燃料とするバスやごみ収集車が実際に走っています。その他、回収後の廃食用油は石鹸や塗料などに再生されています。これまで固めたり、紙に吸わせたりして処理してきた廃食用油ですが、再資源化することでごみの量を削減できるというメリットもあります。もちろん河川への環境負荷も低減できます。回収にあたり、紙に吸わせたりして処理して対象外だったり、持ち込み際の容器に制限があったり各自自治体で細かな取り決めがありますので、注意してください。図に示したとおり、家庭から出る廃食用油のリサイクル率は極めて低いといわざるをえません。循環型社会の構築に向けて一人ひとりがルールを守り、回収に協力していくことが重要です。



※家庭系の廃食用油のリサイクル率はわずか10%。外食産業や食品工業から発生する産業系の廃食用油のリサイクル率は約82%(発生量約34万トンに対し28万トン)なので、まだまだ回収に向けた努力が必要です

●資料提供 全国油脂事業協同組合連合会 <http://www.zenyuren.or.jp/>

## ぶらり循環資源の旅

BURARI JUNKAN SHIGEN NO TABI  
再利用率 SAIRIYO 再資源化率 SAISHIGENKA